

キャラクター名 朝倉・セイファート・真降 (あさくら Seyfert まふり)  
 プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ エグザイル		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
オプション			年齢	17	性別	男
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	28 %	
出自	天涯孤独	経験	UGNへの畏怖	邂逅	師匠…セイファート教官	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	
肉体	2	0	0			2	25	行動値
感覚	4	1	3			8	17	(非装備時)
精神	1	0	0			1	22	戦闘移動
社会	1	0	0			1	44	全力移動

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		2
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN		3
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
Cepphus Curabilis	射撃	8r+4		11+2d10		侵蝕4/コンセ+小さな塵
@100-	射撃	11r+4		14+2d10		
Summon with Pentacle	射撃	8r+4		11+2d10		侵蝕3+4/螺旋撃→コンセ+小さな塵/リアクションのC値+1/1シーンLv回
@100-	射撃	11r+4		14+2d10		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
対抗種	P	N		
セイファート教官	P 尊敬	N 不快感		
両親	P 懐旧	N 疎外感		
シナリオ: ナイチンゲール	P 同情	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト: エンジェルハイロウ	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-Lv (下限7)							
光の銃	1	2	セットアップ	至近	自身	-	-	
効果:	シーン中、種別:射撃/技能:射撃/命中:0/攻撃力:+[Lv+2]/ガード値:0/射程:視界 の武器を作成、装備する							
螺旋撃	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	メインプロセス中、自分が行うメジャーアクションに対するリアクションのC値+1/1シーンLv回							
小さな塵	4	2	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果:	攻撃力+[Lv*2]							
マスヴィジョン	3	4	メジャー	-	-	シンドローム	100↑	
効果:	攻撃力+[Lv*5]/1シナリオ3回							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

幼い頃にUGNに引き取られ、みっちり訓練を受けてきたチルドレン。対抗種としての能力も使いこなして数々の任務を引き受けてきたが、普段は省エネと称して最低限のことしか行わない。力によって自らも傷つけるため、もしくは単なるカモフラージュのため……とにかく常にかたまったようにしている。面影島に来てからは、暑いのでさらにだるそう。ただ、離島だ!!遊ぶぞ!!という気持ちがないわけではない。大自然の中で遊ぶのは好き。「セイファート」は昔世話になったUGNの教官の苗字を貰い受けたもので、真降自身は日本人。教官に対しては訓練が厳しいのだと憎まれ口を叩いていたりもするが、親代わりのような存在であり悪くは思っていない。育ちの影響か、やたらと動物に好かれる。が、オルクスでもノイマンでもない。FHチルドレンのナイチンゲールとは何度も戦っているが、決着はついていない。いい加減に悪さをするのは諦めてほしい。ほんとに。俺のためにも。

【経歴】

朝倉真降は、山奥にて獣たちに育てられていたところをUGNに保護されている。当時、真降は既にオーヴァードとして覚醒していた。保護された地点からそう離れていない場所に両親の亡骸があり、二人の骨には鋭い爪や牙のようなもので噛み千切られた痕跡があった。家族に何があったのか、今となっては知ることできないが、彼は運良く獣たちに見初められたのだろう。UGN職員がやってくるのを見ると、獣たちは牙を剥くこともなく去っていった。

と、本人は説明を受けていたが……実際のところ、彼を育てていたのは何らかのきっかけでジャームとなり、異形と化した両親。そして、彼らが従えていた野生の獣たちである。